

# 第11期 博物館ボランティア募集！



～沖縄を深く知り、その知を未来へつなぐ～

沖縄県立博物館・美術館（おきみゅー）では、来館者と共に学びを深め、博物館活動を支援して下さる仲間を募集しています。現在は学生から社会人まで、多様なバックグラウンドを持つ方々が、「来館者がよろこぶ博物館を！」という共通の目標のもと、それぞれの視点を活かして活躍しています。

## こんな方をお待ちしています

- 沖縄の文化・自然に関心があり、自らも学びを深めたい。
- 博物館や教育・観光の現場に興味があり、実践的な経験を積みたい。
- 自分の時間を活かして、地域の文化教育を支えたい。



## どのような活動があるの？

- ご自身の興味や得意分野に応じて、多様な領域で活動いただけます。

次世代の学びを支える： 学校団体・体験学習サポート	小学3年生向けの「民具体験」の補助や解説、夏休みこどもフェスタ・ふれあい体験室等の体験学習サポートなどで、子どもたちの探究心を育みます。（学校対応は火曜日～金曜日の平日が中心となります。ふれあい体験室での活動は平日だけでなく土日祝日にも参加できます）
知の拠点を足元から支える： バックヤード支援	新聞記事のスクラップ作成、資料の封入作業、民具等の体験用資料の補修、展示キットの清掃（IPM 清掃）など、博物館の運営に欠かせない活動です。
対話を通じて伝える： 展示ガイド	総合展示室で、修学旅行生や一般来館者に沖縄の魅力を解説します。 解説にあたっては、各分野の専門学芸員が監修した『ガイドマニュアル』が用意されており、学びを深めながら活動をスタートできます。 ※展示ガイドとしての本格的な活動は、ボランティア2年目以降に「ガイドボランティア講座」を受講し、資格を取得した後にスタートとなります。

## ライフスタイルに合わせた多彩な活動メニュー

当館のボランティア活動は、ご自身のスケジュールや興味に合わせて柔軟に組み合わせることが可能です。「平日は資料整理、土日は来館者サポート」や「学校対応とバックヤード支援を兼務」など、ライフスタイルや興味・得意分野に合わせた自由なスタイルで活動いただけます。以下に、代表的な3つの活動スタイルをご紹介します。

### ① 土日・祝日や空き時間を活用したい方へ

学業・お仕事と両立しやすく、着実に活動時間を積み上げられるメニューです。

- **ふれあい体験室の来館者サポート：**  
ふれあい体験室が開室中であれば**随時参加可能**な、最も自由度の高い活動です。
- **個人客向け待機型ガイド：**  
9:00～16:00の間、総合展示室で来館者の発見に寄り添う解説を行います。**★ガイド資格必要**



▲ふれあい体験室の来館者サポート（イメージ画像）

### ② 教育の最前線で「伝える」を実践したい方へ

子どもたちの驚きを引き出す、やりがいのあるプログラムです（主に平日実施）。

- **民具体験サポート：** 県内の小学3年生を対象に、昔の道具の使い方を伝えます（11月～2月）。
- **夏休みこどもフェスタ：** 7月下旬に開催される「夏休みこどもフェスタ」の運営を支えます。
- **団体・小規模校向けガイド：** 修学旅行生や離島の学校団体、観光客へ向けて、専門学芸員監修のマニュアルに沿って沖縄の魅力を解説します。  
**★ガイド資格必要**



▲民具体験サポート（イメージ画像）

※ **★ガイド資格必要**…2年目以降に専門講座を受講し、「ガイド資格」を取得してから可能になる活動。

### ③ 博物館の舞台裏を支え、知見を深めたい方へ

コツコツとした積み重ねが、未来の資料を守る力になります。

- **資料整理（新聞スクラップ）**：毎週水曜午後に、将来の研究資料として活用できるよう、新聞記事の整理を行います。
- **バックヤード支援**：資料の封入発送や、燻蒸のための養生作業、ふれあい体験室の展示キットの清掃（IPM 清掃）、体験用資料（お手玉、民具等）の補修などを行います。



▲資料整理活動（イメージ画像）

### 👉 この場所で磨かれるもの

- **専門的な知見**：学芸員による勉強会を通じ、教科書の一步先にある知識に触れます。
- **多世代との共創**：共通の関心を持つ幅広い年代の仲間との交流は、新たな視点を与えてくれます。
- **文化の継承**：地域の宝である資料や自然・歴史・文化を「伝える」という、公共性の高い役割を担う充足感を得られます。



▲民具体験の様子（イメージ画像）

### 🎓 大学生・若い世代の皆様へ：「ボランティア活動証明書」の発行

- 当館では、次世代の社会貢献を支援するため、R8 年度から、年間通算 36 時間以上の活動を行った方を対象に「ボランティア活動証明書」を発行することにいたしました。専門的な教育普及の現場での経験は、ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）としてはもちろん、自身のコミュニケーション能力や公共への寄与を証明する記録としてご活用いただけます。

## 活動の概要

- **活動時間：** 内容により異なりますが、1 回あたり 1～3 時間程度が中心です。(主に火～日曜日)
- **「曜日班」制度：** ボランティア同士の親睦と円滑な情報共有のため、火曜日から日曜日までのいずれかの「曜日班」に所属し、月に一度の「曜日班定例会」で館内の最新情報や活動の気づきを共有し合います。ボランティア登録後、ご自身のスケジュールに合った曜日をお選びください。  
※所属する曜日班以外の日に活動することも可能です。  
※曜日班はあくまで、月一回の情報共有（定例会）への参加を基本とする「ホームグラウンド」のような位置づけです。
- **サポート：** 職員や経験豊富な先輩ボランティアが丁寧に共有・サポートしますので、初めての方も安心してご参加ください。



▲曜日班定例会（イメージ画像）

## 応募資格および登録までの手順

ボランティア活動をはじめするには、まず 4 月にご応募いただき、続いて全 5 回の養成講座を受講していただく流れとなります。

- **応募資格：** 令和 8 年 4 月 1 日現在満 18 歳以上（高校生を除く）で、博物館活動に興味・関心のある方
- **登録条件：** 月 3 時間程度の継続的な活動が可能で、全 5 回の養成講座に出席できる方
- **募集人数：** 50 名

### 【登録までのスケジュール】

- **応募期間：** 令和 8 年 4 月 14 日（火）～4 月 30 日（木）
  - 申込用紙に記入し、FAX・郵送・来館のいずれかで提出。
- **養成講座（全 5 回）：** 5 月～6 月開催 ※参加必須
  - 日程：5/22(金), 5/27(水), 5/29(金), 6/3(水), 6/5(金)
  - 時間：14:00～16:00
  - 内容：学芸員による分野別ガイダンス、IPM（環境保全）研修など。
- **ボランティア登録：** 6 月 5 日（金） 養成講座最終日
  - 講座修了後、正式に登録（一年度毎の更新制）。

## お問い合わせ先

沖縄県立博物館・美術館（（公財）沖縄県文化芸術振興会 教育普及担当）

- 電話：(098) 941-8200 / FAX：(098) 941-2392
- 受付：9:00～18:00（月曜日を除く）